

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	結核重点対象者対策				所管	健康部 保健予防課	
	行政計画	事業NO.	163	計画事業名	結核重点対象者対策の充実		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり [小 柱] (3)安全で健康な生活環境の確保 [施 策] ③健康危機管理の推進				事業の開始・終了年度	
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし		[事業開始]	昭和50年度
	事業対象	一般区民、区内日本語学校生、住所不定者					[終了予定]
事業目的	重点対象者に対し結核検診や結核の知識の普及を図り、患者の早期発見、早期治療、及び感染予防を図る。						
事業内容	結核対策として、検診を受ける機会の少ない日本語学校生には保健所にレントゲン車を設置しての集団検診、住所不定者に対しては出張検診を行う。 また、教職員、保育士などの教育関係者、医療関係者、社会福祉施設職員を対象に講演会を実施し、結核の知識の普及と健診の励行、感染予防を図る。						
委託の有無	一部委託	委託内容		検診車の配車及びエックス線検査読影を含む検診			
補助金の有無	国						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度
	活動指標	検診実施回数	回	14	13	16	17
		講演会実施回数	回	3	3	3	3
	成果指標	台東区結核罹患率(人口10万あたり)	-	35	35	37	39
		検診受診者数	人	2,500	1,639	2,392	2,506
	決算額	(単位：千円)			2,507	2,577	2,652
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			8,671	8,662	10,968
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			2,391	2,460	2,545
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			117	117	108
		総経費			11,179	11,239	13,621
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			2,508	2,492	2,563	
	一般財源(区負担額)			8,671	8,747	11,058	
前回評価から改善した事項	検診事業は実施場所を対象者の多くいるような場所を設定し、事前に検診日程のチラシ配布を路上生活者やカプセルホテルやマンガ喫茶などで行った。講演会は前年度の事例から教育機関向けには『職員の健康管理のポイント』をテーマに開催した。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	4	類似事業を行う民間団体はない。患者の早期発見には検診事業は必要である。日本語学校の生徒は結核の高蔓延国の出身者が多く、在籍者数も増加傾向である。ニーズは増加している。				
	効率性	3	検診により42名の精密検査対象者を発見することができている。				
	手段の適切性	4	レントゲン車での検診委託により、短時間で大勢の方を対象に検査を実施できる。集団生活を行う施設に対し、定期健診と早期受診の大切さを伝えることが出来た。				
	目的達成度	4	年々増加する日本語学校生に対し、検診を受けられる環境を整えることが出来ている。受診者数も増加傾向にある。				
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	維持	
結核は感染症であり、感染性のある状態で発見された場合には患者は入院治療を要する。また周囲の人たちにも検査が必要となるため、区民の負担や感染拡大防止のためには、早期発見が重要である。対象者に合わせた健診や受診行動に結びつく知識の普及は継続すべきと考える。					拡大改善維持縮小廃止・終了		